

～現場ICT技術～

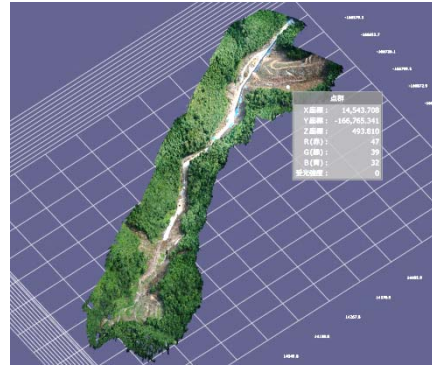
ICTとは...

ICTとは、情報通信技術 (Information and Communication Technology) の略です。近年急速に成長してきているコンピュータや通信技術を建設現場で活用した、品質、コスト、安全、環境に配慮した建設生産の合理化が求められています。

造成面積の大きい当現場では、この情報通信技術「ICT」を活用し、作業の効率化と安全性の向上を図っています。

〈UAV測量〉

UAVとは無人航空機（通称ドローン）のことで、操縦者が遠隔で操作し飛行させるものをいいます。この機体にデジタルカメラを搭載し、上空から撮影した画像を、写真測量や地形解析に利用します。この空撮画像は、最新の現況を把握できる情報であり、また、これを蓄積した時系列データの比較により、造成時期による地形の変化状況の確認に利用できます。造成面積の大きな当現場では、このUAVを現場全体の現況測量や土量管理に利用し、作業効率の改善を図ります。



UAV測量で取得した3次元座標データ

〈ダンプ運行管理システム〉

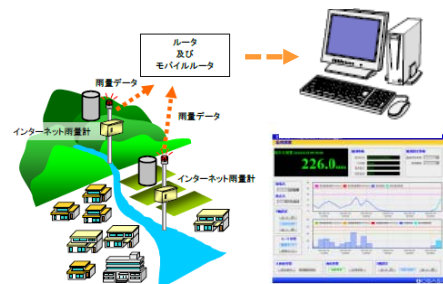
ダンプ運行管理システムではGPSアンテナ搭載のトランシーバーにより、ダンプへの連絡・指示だけでなく、各ダンプの位置がリアルタイムで確認できます。車両のスピードや積荷の積み降ろしの自動確認に加え、あらかじめ設定した注意エリアをダンプが通過するときには注意喚起の自動音声を流すこともできます。

当現場では、主に表土搬出用ダンプにこれを搭載して、走行中のダンプの位置やスピードをチェックして、安全性向上を図っています。



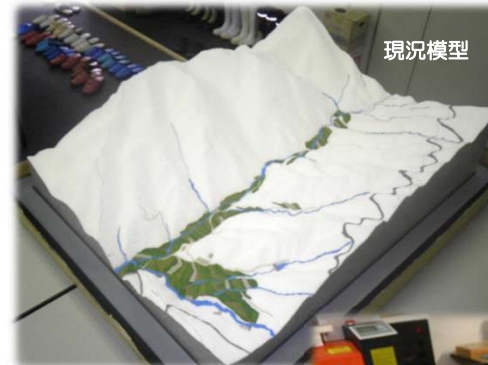
〈雨量計〉

当現場では、現場内に設置した雨量計で計測したデータをインターネット上で確認できるシステムを導入しています。パソコンや携帯電話から接続することで、現場の降雨量をリアルタイムで監視しています。



恵下埋立地(仮称)建設工事 工事だより

第02号
(2016年11月)



現況模型

完成に向けて始動！



完成模型 (S=1/1000)

【発行】大林・洋林・宮川建設工事JV
広島市恵下埋立地(仮称)JV工事事務所
TEL 082(830)4007

<工事進捗 (8月~10月)>

①工事用道路舗装1



②工事用道路2



③下流ゲート仮囲設置



④地下集排水管設置



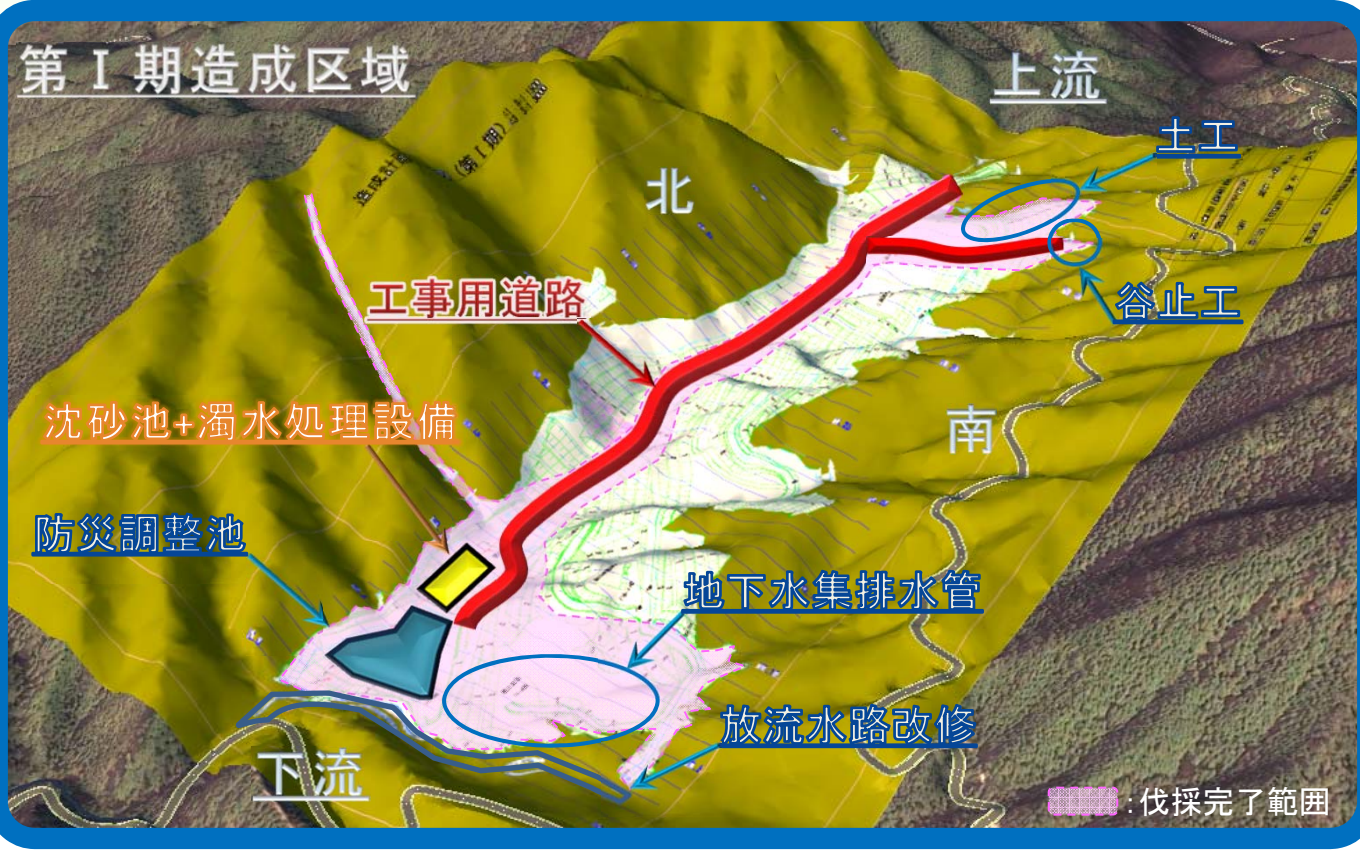
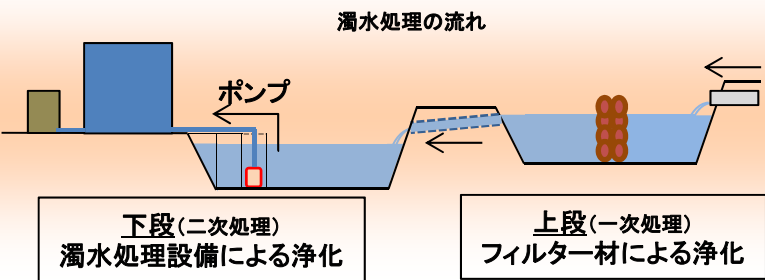
さくどう
<索道>

索道とは、ロープウェイやゴンドラリフトのように空中を渡したロープに吊り下げた輸送機器に人や貨物を乗せて運ぶ施設を言います。当現場では、重機が入ることのできない谷などの急斜面における、伐採木の運搬に索道を利用しています。



<沈砂池+濁水処理設備>

防災調整池ができるまでの間、工事用道路終点部に仮設沈砂池を設置します。道路に沿って設置した水路を流れてくる排水を一度、沈砂池に集水します。沈砂池は2段構成になっており、フィルター材による浄化と、濁水処理設備による浄化を行い、放流基準を確認しながら水路に放流します。



<平成28年度建設運営協議会>

10月8日に協議会委員の方々から工事の施工状況および環境対策について、資料による説明を行い現場視察をして頂きました。



<河内神社還霊祭>

現場内の河内神社解体に伴い、患下地区に関係のある方々を招き還霊祭を開催しました。



<現況と今後の工程>

工事用道路の舗装、沈砂池及び濁水処理設備の整備も完了しました。今後は、地下水集排水管の設置、防災調整池の掘削、谷止工に着手する予定です。また、濁水期に下流側放流水路の改修工事に着手します。

No	主な工程	平成28年											
		10月			11月			12月			1月		
		10	20	30	10	20	30	10	20	30	10	20	30
1	準備工 (伐採・工事用道路)												
2	地下水集排水施設				●	●	●						
3	土工 (防災調整池・南側法面)							●	●	●			
4	谷止工										●	●	●
5	放流水路改修工												●